

### 9-3 九州南部の地震活動 (2000年5月~10月)

#### Seismic Activity in the Southern Kyushu District (May-October, 2000)

鹿児島大学 理学部

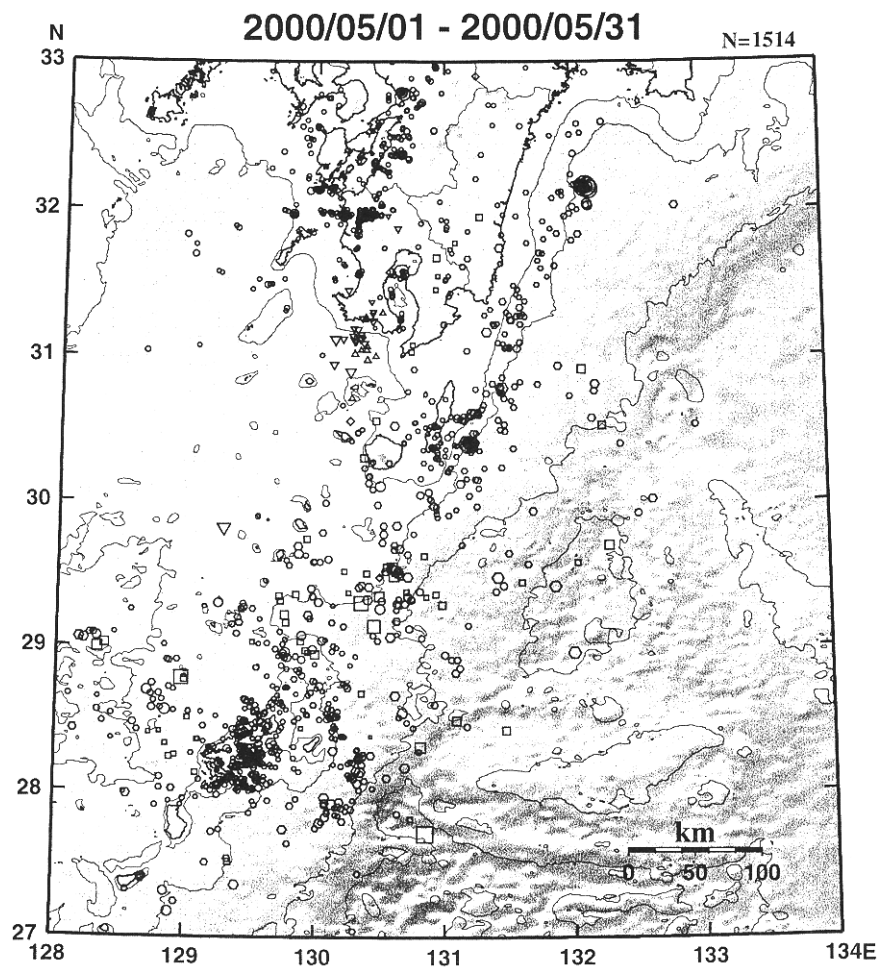
Faculty of Science, Kagoshima University

2000年5月~10月の1ヶ月毎の震央分布を第1図~第6図に、深さ $\leq 30$ kmおよび深さ $> 30$ kmの地震の時空間分布を第7図と第8図に示す。さらに、第9図と第10図には2000年5月~7月および8月~10月の各3ヶ月間に発生した主な地震のメカニズム解を示す。

この期間の地震活動は、7月と8月を除いて、やや活発であった。特にトカラ列島およびその東方沖での活動が目立った。6月6日にはM6.1の地震がトカラ列島中部の東方の海溝軸付近で発生した。6月15日には6日の地震の東方約60kmでM5.8の地震が発生した。この地震の震央は、海溝軸のやや東側に位置している。これら2つの地震では、余震活動が認められた。8月7日には6月6日の地震の南西約60kmでM5.2の地震が発生した。さらに、9月28日には中之島付近で小規模の地震活動(最大地震はM4.0)が発生した後、10月2日から悪石島付近でM5.7の地震を含むかなりの規模の活動があった。トカラ列島域の地震観測網の整備は遅れており、この領域に発生する地震の震源精度は良くない。そこで、鹿児島大学では10月2日の悪石島付近での地震活動の開始に伴い、悪石島と宝島で臨時地震観測を開始した(悪石島付近の地震活動については別項で報告する)。

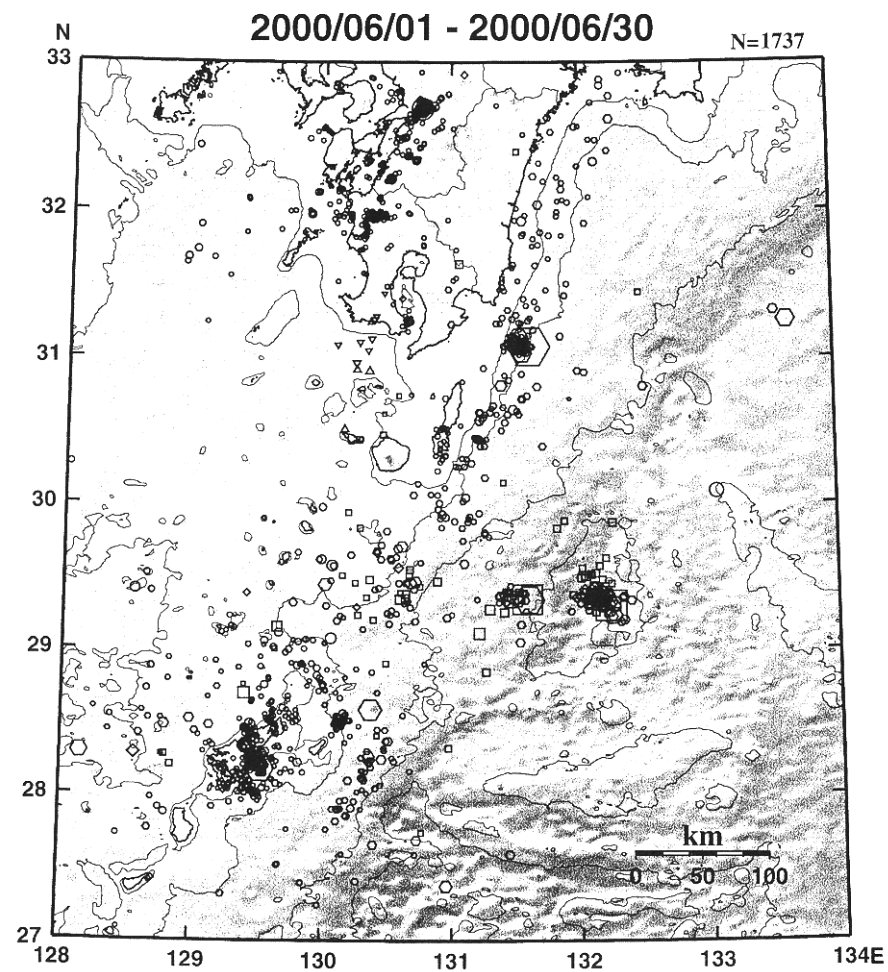
この他では、6月25日に宮崎県都井岬の南東約40kmでM5.9の地震が発生し、余震活動があった。また、これまでほとんど地震活動が認められなかった薩摩半島南西沖の黒島付近で7月頃から時折地震が発生するようになり、8月18日にはM4.0の地震が起こった。

本報告は、気象庁・九州大学・鹿児島大学のデータをもとに作成された。



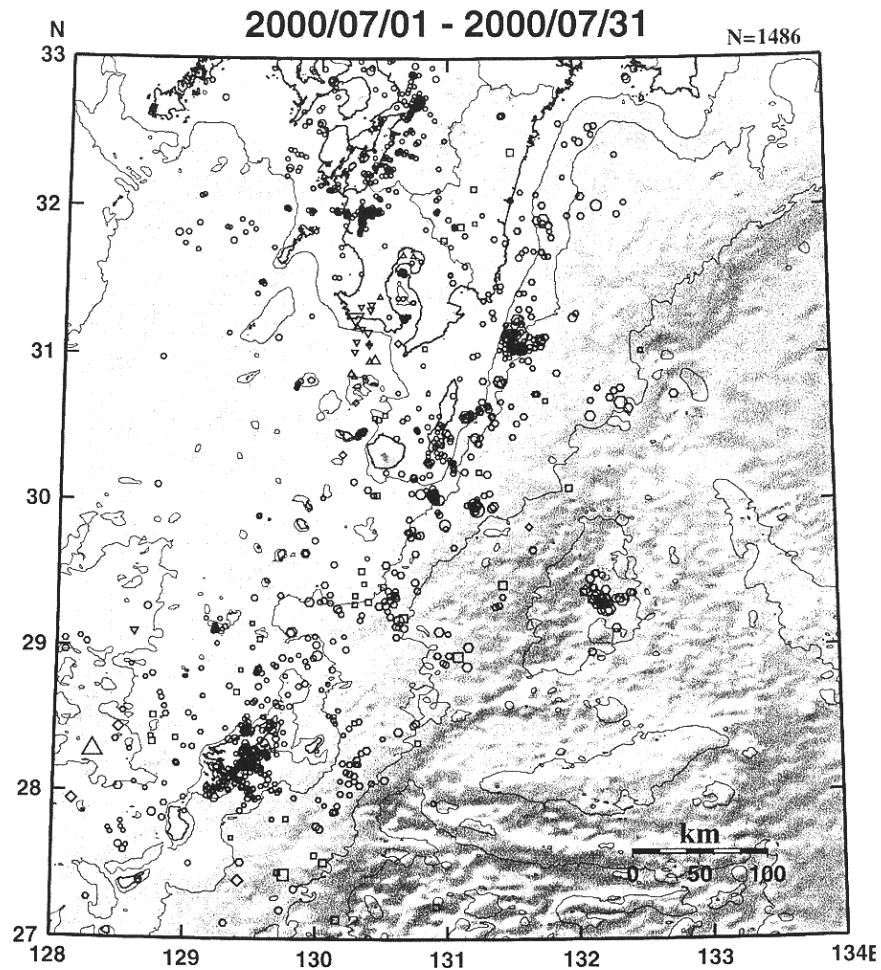
第1図 震央分布 (2000年5月)

Fig. 1 Epicentral distribution (May, 2000).



第2図 震央分布 (2000年6月)

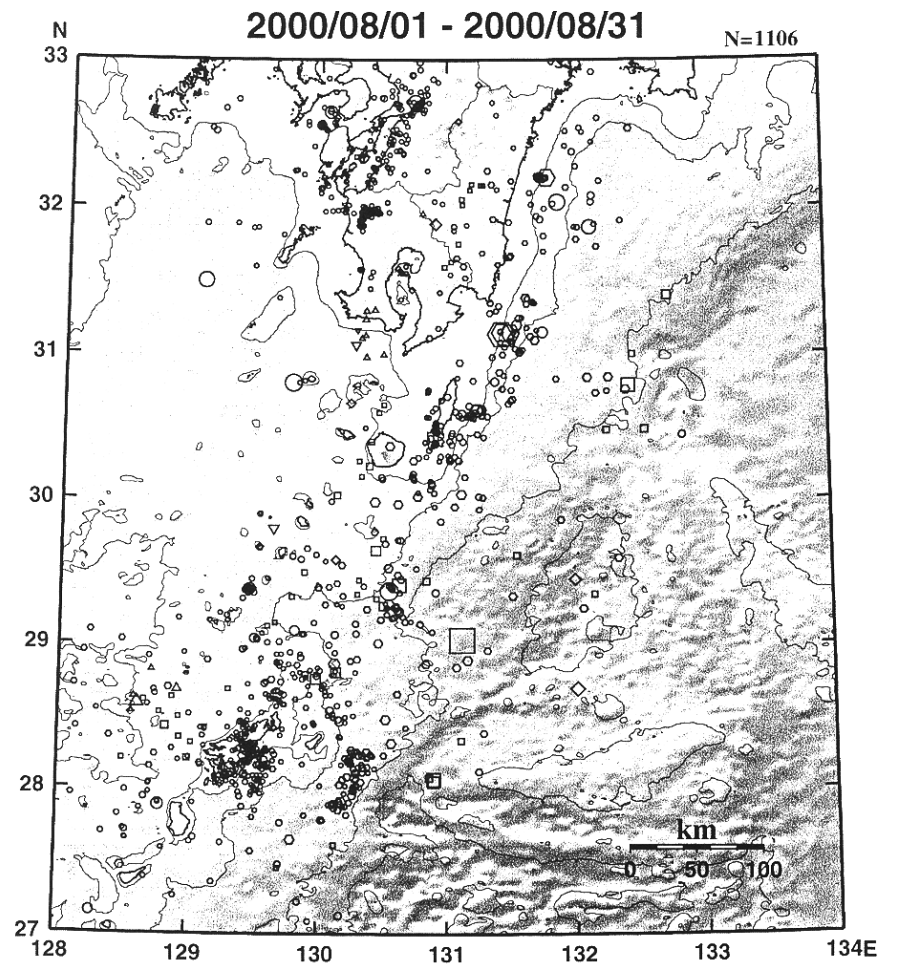
Fig. 2 Epicentral distribution (June, 2000).



Depth(km) ○ 30 ◡ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽  
 Magnitude · 1 · 2 · 3 · 4 · 5 · 6 · 7

第3図 震央分布 (2000年7月)

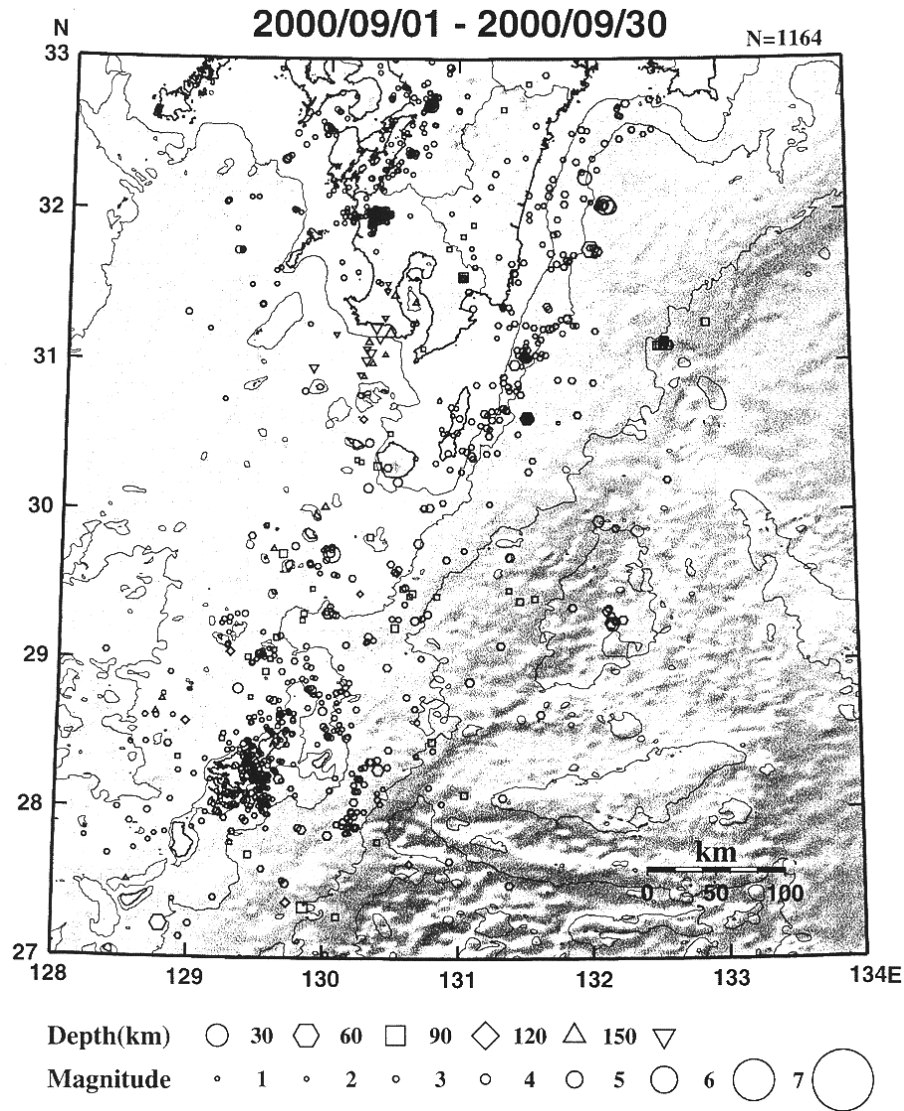
Fig 3 Epicentral distribution (July, 2000).



Depth(km) ○ 30 ◡ 60 ◻ 90 ◊ 120 △ 150 ▽  
 Magnitude · 1 · 2 · 3 · 4 · 5 · 6 · 7

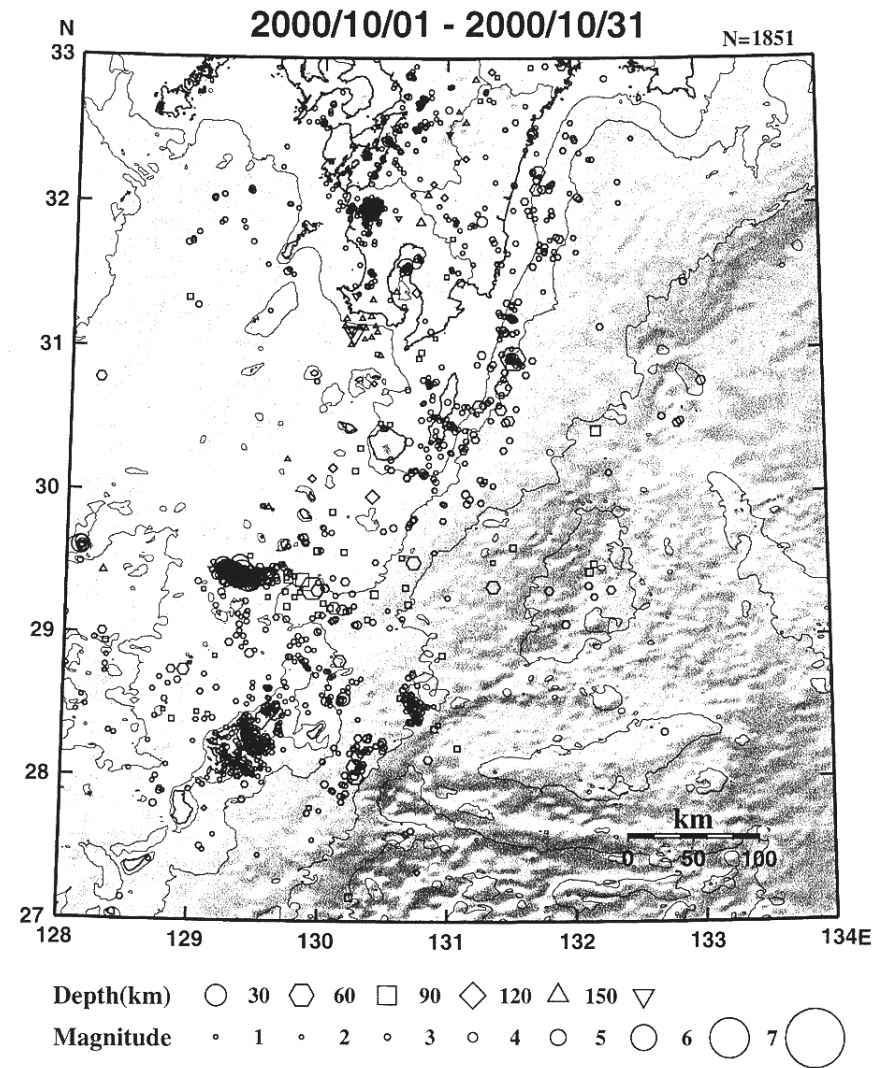
第4図 震央分布 (2000年8月)

Fig.4 Epicentral distribution (August, 2000).



第5图 震央分布 (2000年9月)

Fig. 5 Epicentral distribution (September, 2000).

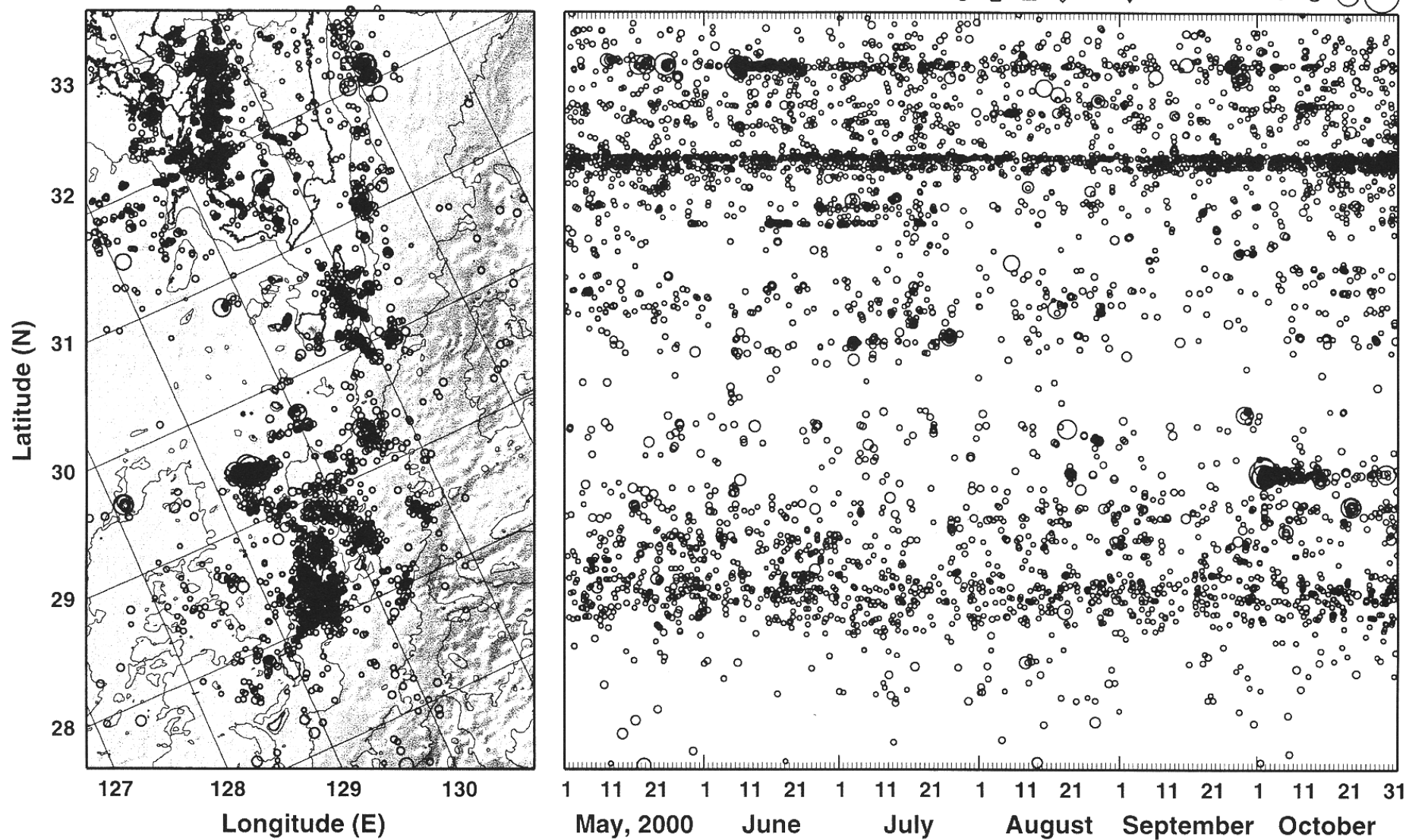


第6图 震央分布 (2000年10月)

Fig. 6 Epicentral distribution (October, 2000).

NOEV (Kagoshima Univ.) 2000/05/01 - 2000/10/31 Magnitude = -2.0 - 9.0  
 Depth = 0.0 - 30.0 km N= 6290

Depth (km)                      Magnitude  
 30 60 90 120 150              0.0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0

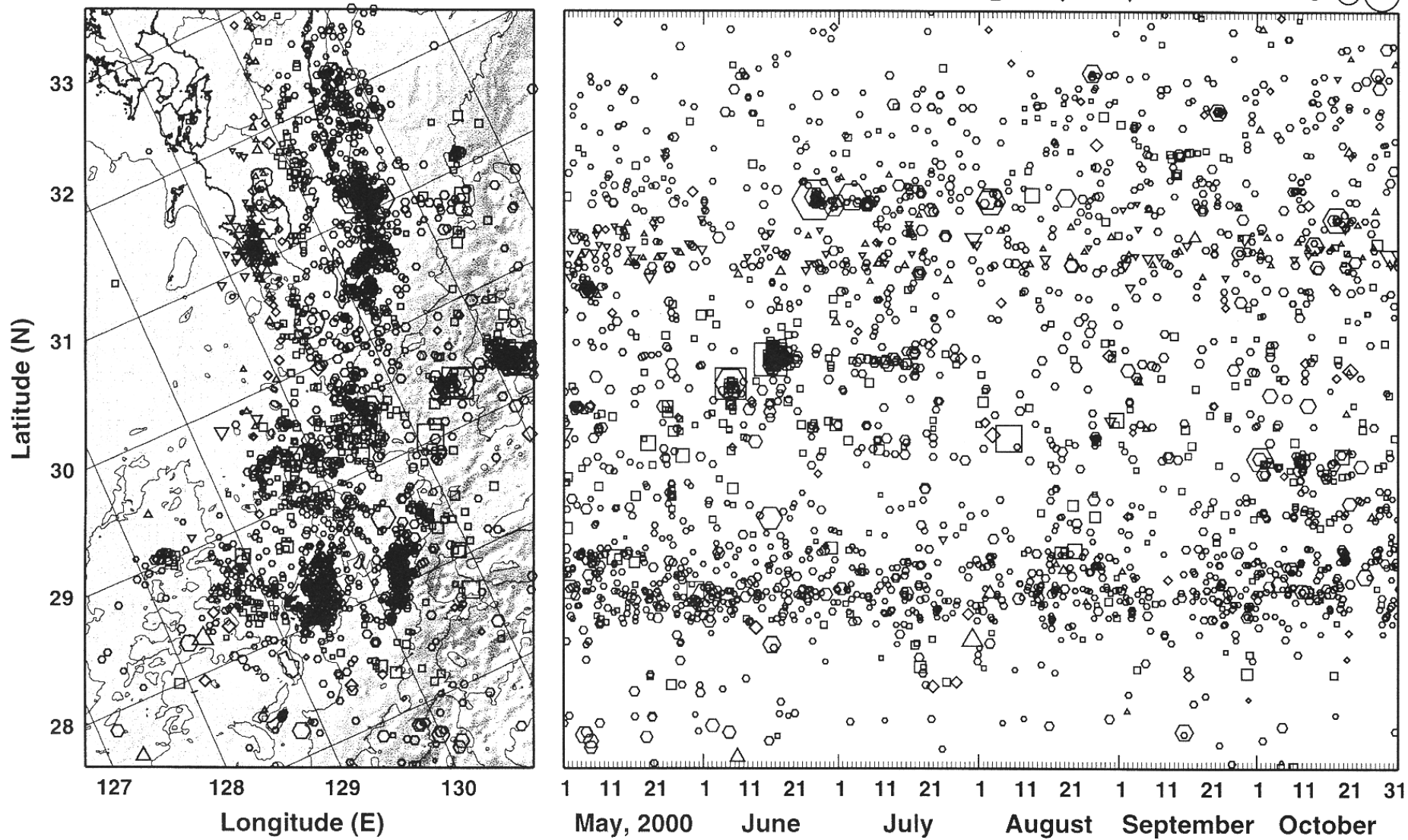
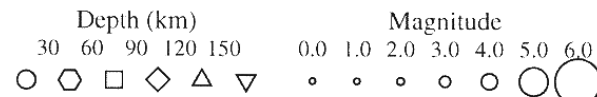


第7図 深さ $\leq 30$ kmの地震の震央分布と時空間分布

Fig.7 Epicentral distribution for depth $\leq 30$ km and time-space diagram.

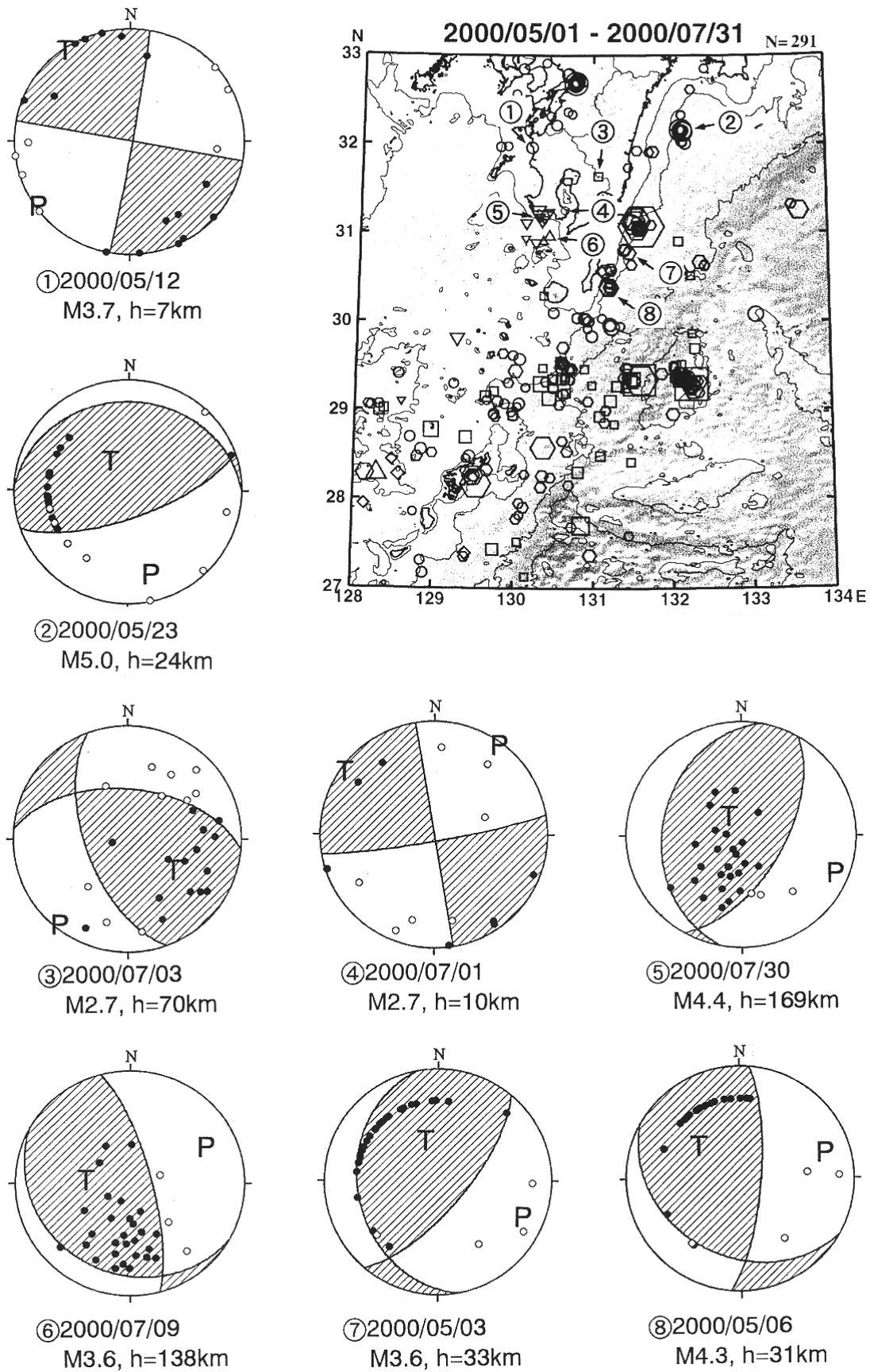


NOEV (Kagoshima Univ.) 2000/05/01 - 2000/10/31 Magnitude = -2.0 - 9.0  
 Depth = 30.0 - 225.0 km N= 2620



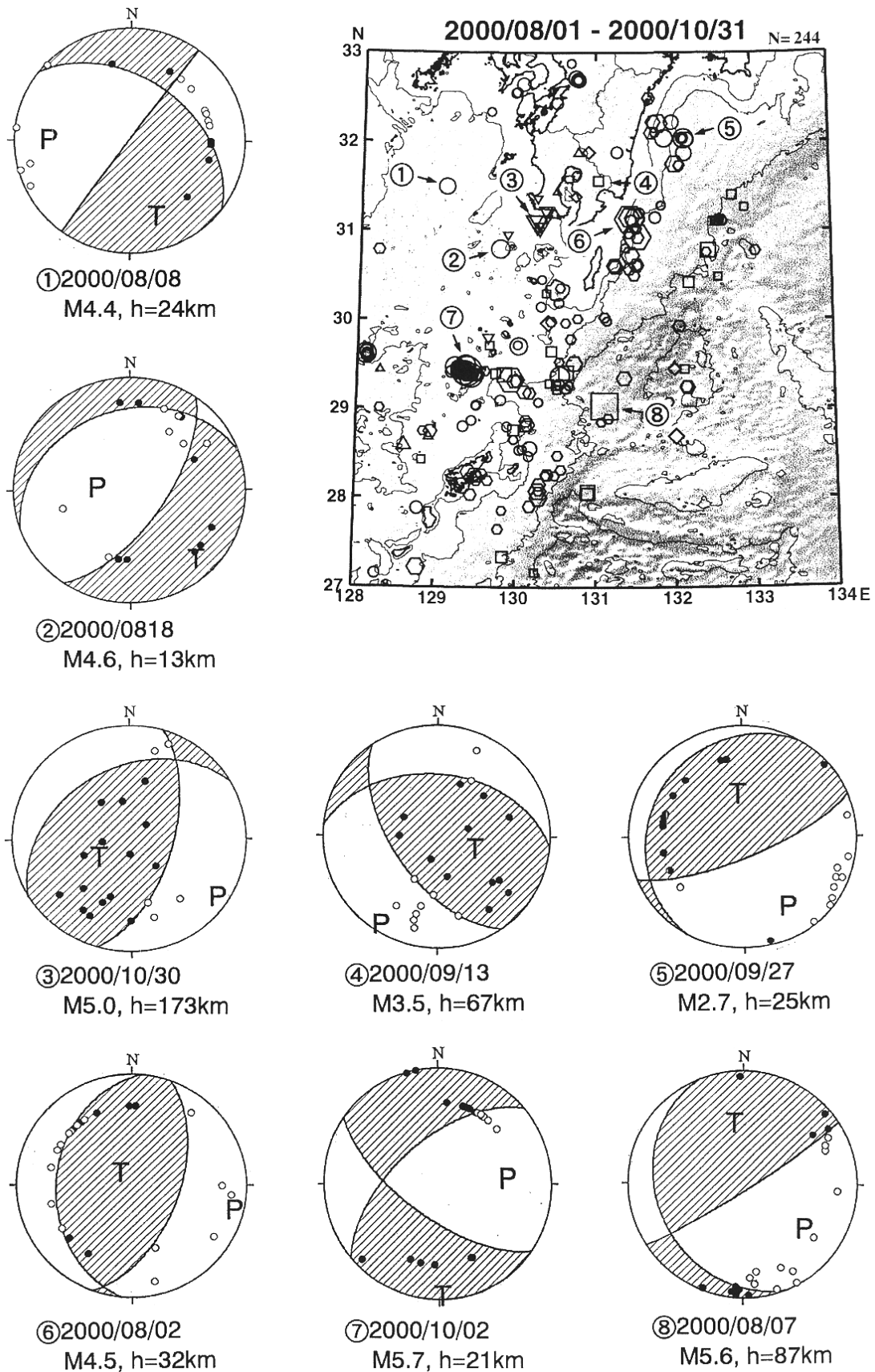
第8図 深さ>30kmの地震の震央分布と時空間分布

Fig.8 Epicentral distribution for depth>30km and time-space diagram.



第9図 主な地震のメカニズム解 (2000年5月～7月, 下半球等積投影)

Fig.9 Focal mechanism solutions of major earthquakes (May-July, 2000. Equal area projection on the lower hemisphere).



第10図 主な地震のメカニズム解 (2000年8月~10月, 下半球等積投影)

Fig.10 Focal mechanism solutions of major earthquakes (August-September, 2000. Equal area projection on the lower hemisphere).